



発行：日本共産党
 伊那市委員会
 伊那市狐島3879
 TEL：72-2465
 ホームページ
 「J C P上伊那」



「高校再編を考える会」に「協議会」が回答

住民ぐるみの運動で再編止めたい

上伊那の「高校再編」協議を進める「上伊那地域の高校の将来像を考える協議会（会長 杉本幸治駒ヶ根市長）」は、来年2月にも高校の統廃合などの成案をまとめるとしています。

「高校再編」は長野県教育委員会が目指しているものですが、理由は高校の生徒数が12年後に2割減るからというものです。しかし協議会は限られた人の意見を聞くだけで決めようとしています。

こうした状況を危惧する住民有志による「高校再編を考える会（代表 宮下与兵衛氏）」は「協議会」に対し、『(1)再編ありきの拙速な決定をしないこと。(2)すべての会議は公開にすること。(3)「住民の意見を聞く会」を複数回開くこと。(要約)』を申し入れました。

「協議会」からは10月1日に回答がありました。『(1)については、将来にわたって上伊那の高校が地域の子どもに確かな学びを提供できるようにしたいと協議している。』、(2)と(3)については、「会議は可能な限り公開することが確

認されている。地域懇談会は相談

統一地方選・参院選必勝へ・秋まつりに3千人 野党と共産党の躍進で安倍政権打倒へ！

第40回赤旗信州秋まつり（共産党長野県委員会主催）が、10月7日松本市のやまびこドームで開催され、3千人が集いました。

午前、清水まなぶさん等のコンサートから始まり、午後の政治集会まで多彩な行事がくり広げられ、会場は、熱気に包まれました。

記念講演で小池晃書記局長は、「長野県は共産党の力が強い、もっと強く大きな党になって頂きたい」と数字を示し紹介、来年の参院選では20万票をやり遂げ井上さとし参議院議員はじめ比例7議席と選挙区でのながせ由希子さんの勝利のために大奮闘を呼びかけ、同時に「オール沖繩」で闘い勝利した

して進めていく。』（要約）という内容でした。

「考える会」はさる2日、回答は不十分として、拙速な再編の決定をさせない住民ぐるみの運動を展開するとともに、「住民の意見を聞く会」の早期開催などを「協議会」に求めていくことを確認しました。

連絡先 「考える会」事務局
 090160470234（前沢さん）

知事選にふれ、安倍政権を追い越めようと力強く呼びかけました。参加者は拍手や声援等で応えていました。

野党からは、立憲民主党と社民党の代表があいさつ。国民民主党や県内の衆参議員からメッセージがよせられ、市民と野党の共闘の強化が強調され、

共闘での共産党の役割について評価していました。



会場ぎっしりの参加者

地 蜂

十月二十三日、政府は「明治百五十年式典」を実施しました。明治は四十五年で終了しました。現在は「明治百五十年」などではありません。

どんな意図をもってこんな名称の式典を国家の事業として行ったのでしょうか。▼安倍首相の式辞は、「大日本帝国憲法体制」「滅私奉公の国家主義的教育体制」「富国強兵政策とアジア諸国への侵略戦争」の歴史を事実上肯定し、その上に立つ「現在の政治、経済、社会の土台」を築いた先人を私たちの誇りとし、力強く歩んでいかねばならないという内容なのです。▼「一億玉砕」を掲げ、沖繩をはじめ国土を焦土と化し三百万の国民、二千万人のアジア同胞を犠牲にした歴史の事実を一顧だにしています。その悲痛な経験に立つて作り上げた人類の英知ともいうべき平和主義憲法を無視し、踏みじりに、嘘偽りを並べ立て、これらを批判する国民を敵視、恫喝して「安倍改憲」を強行しようとしています。▼この「安倍暴政」への憤りが、沖繩で、本土で大きく高まっています。「過去に目を閉ざす者は、現在に対してもやはり盲目となる」・・・ドイツ降伏四十年にあたり、ヴァイツゼッカー大統領が連邦議会で行った演説の一節です。日本の近現代史百五十年を機に、その歩みの真実の姿を改めて学びあう機会としたいものです。(Y・K)

安倍政権打倒へ!

街頭で訴える女性部員。右から二人目、ながせ由希子さん



党地区女性部レッドアクション

翁長知事の急逝と知事選の状況に居ても立ってもいられず、9月18日から玉城デニーさんの応援に駆けつけました。辺野古新基地をつくらせないために重要な選挙であり、わが国の民主主義、法治主義のレベルが問われる選挙です。向かったのは首里城駅に近い古堅那覇市議の事務所。予想通り安倍政権が推す佐喜真陣営が、締め付けや会社ぐるみ、デマと誹謗中傷、公職選挙法違反のデタラメで汚い選挙戦を展開していました。

沖縄の皆さんに感謝

前原 橋本明典

「翁長知事の後継者」と書かれた佐喜真陣営の宣伝カーには目を疑いました。期日前投票をさせ、記載した投票用紙をスマホで撮らせ、証拠として提出させる業界すらありました。よくここまで平然とウソをつき選挙違反が出来るものです。

本当にたくさんの人と対話しましたが、「家族7人、もうデニーさんに入れてきたよ!」「本土からも応援に来てくれてうれしい!」沖縄はひとりじゃないね!」「読

安倍政権が、憲法9条の改憲を狙い、消費税も来年の10月に10%に増税するとしている中、共産党上伊那地区女性部は、10月25、26日、レッドアクション宣伝行動に取り組みました。26日は、ながせ由希子参院選挙区候補も参加しました。

地方議員らが上伊那8市町村のスーパー前や街頭などで「沖縄県知事選など3つの選挙で『基地はいらぬ』の意思が示された」とことや、「来年の統一地方選挙、参院選挙で市民と野党の共闘で自公

谷村は大丈夫、安心して」など、私の方が勇気づけられることが多くありました。

開票日、デニーさんの当確が出た直後に電話を入れました。事務所中が大騒ぎで、カチャーシーを踊る様子が伝わってきました。なりふり構わない権力の横暴に打ち勝った沖縄の皆さんに心から感謝。



勢力を少数派に追い込み、改憲と消費税増税の中止を」などと呼びかけ、「消費税増税中止」の署名と「安倍9条改憲NO!」の署名を集めました。

力合わせれば 平和は保てる

— 高遠で学習会

「中米の国・軍隊をなくしたコストリカに学ぶ」つどいが、10月27日午後、高遠福祉センターで9条の会の主催で行われ、15人が集いました。7回目の平和の集いは「ほんとうの平和の保ち方」をテーマにしました。

コスタリカツアーに参加の大場さんの報告とDVD「コスタリカの奇跡」を視聴した後フリートークを行いました。「日本との違いが大きい。理想に思えた」「軍事費を福祉にまわす。そうありたい」「アメリカの圧力に屈せず、自分たちの大統領を選挙で決めたのは沖縄の人たちと重なって見えた」「またDVDをゆっくり見たいね」などの感想を、コスタリカ産の珈琲を飲みながら話し、交流を深めて今後の力にしました。

各地の9条の会等の行動

手良9条の会は、3日、手良坂交差点付近での「アベ政治は許せない」の宣伝行動に5人が参加。竜東と東春近9条の会は、共同で3日午後、ベルシャイン前で、19日朝、竜東橋北交差点で「平和を守ろう」「安倍政権を倒そう」などの看板やのぼりを掲げ、延べ22人が参加し宣伝しました。

ゴルフコンペ

飯島光豊後援会は、10月23日、ゴルフコンペを開催し、12人が参加しました。秋晴れの下、和やかに懇親を深めました。

国道153号線バイパスの地元 分断される上の原

(2)

伊那建設事務所
では伊那バイパス
の交通量を204

153号線バイパスは、市
民生活犠牲の大型プロジェクトで、静寂な住宅地を一変させる。日影区部分は5%の勾配の高架橋で青島に至る。

島区では年3回の土手の草刈りが大きな負担になっているという。
上の原
は60cm
高い側道
も付き、
土手は二
段構えで
さらに困
難が予想
される。

説明では、幅40mの道路で分断され、公民館に行くのさえ困難。高さ約1mの土手を登らないとバイパスの歩道にさえ入れない。広大な土手の管理は誰がするのかなどの質問、意見が出た。先行した福



設計図を食い入るように見る区民

0年には1日に2万3400台と予測している。箕輪バイパスが現在1・3万台であり人口減の中、空想的な数字とも思える。

市議会ではバイパス促進期成同盟で20年以上も運動しているが、果たして地元住民の悩みや要求をどこまで把握しているのか。将来に禍根を残さない議論を望みたい。(北原)



ドアツードア型公共交通を

飯島 光豊

市議会総務文教委員会で10月中旬、福岡県八女市が運行する「ふる里タクシー」を行政視察した。乗合バスの安さとタクシーの便利さを兼ね備えた同市の予約型乗合タクシー交通システムは、全市民の自宅の玄関前までお迎えに来てくれて、目的地の病院や商店などの

玄関前まで送ってくれる。利用者はバス停まで歩く必要がないので大絶賛だ。県内でも、安曇野市などが運行している。
一方、伊那市では「伊那バス『新山線』廃止へ」というように、公共交通が深刻な事態に直面している。急いで「ドアツードア型公共交通」の運行を提案したい。

原水禁世界大会 報告集会開かる

10月12日、原水禁世界大会報告集会が開かれ、被爆地広島を訪れ、見聞きして強くした核兵器廃絶の思いが語られました。特別企画は、自身も被爆者で、被爆体験の伝承を行う岡本忠さんの講演と広島で学徒動員中に被爆した梶本淑子さんの体験を参加した40名が聞きました。
現在核兵器禁止条約に69カ国が調印し、19カ国が批准しています。条約発効条件である50カ国の批准に向けて、世界は着実に進んでいます。
唯一の戦争被爆国日本政府に対して条約参加を迫る国民的運動が求められています。(馬場)

尊厳

光は束となつて 中部電力人権裁判闘争の22年

連載4

表現の自由、勤労の権利、生存権等々は、いかなる国の、いかなる人間にも認められてこそ、はじめて「人権」の名に値する。中部電力の職場に起きた人権侵害と、それを是正するために職場から生まれた人権闘争。中部電力に勤務する従業員90名が会社に対して提訴した人権侵害・思想差別撤廃等請求の裁判。

◇長野県内では広域で、わずか8名の争議団員が点在する条件下での苦しい闘いでした。各要請文を県内事業所に提出したが会社の対応は非常に堅く、要請文の受け取りや面会を拒絶する事業所が多かった。要請する事業所の所在地の日本共産党議員や労組、民主団体が支援し、要請は38カ所に行い、延べ200人近くが参加、元氣の出た取り組みでした。県内各地に散らばる一人ひとりが人間の尊厳を心に刻み、周りの人の支援を得て活動したのです。

県内原告の五味さんは、『光は束となつて』の中で「街頭ビラは、「諏訪では四つの駅でやる」と前日まで依頼の電話をしました。しかし、いつも不安がありました。一方通行のお願いばかりなのですから、不安があっても仕方がないことでした。毎回、共産党の市会議員さんが来て、音の宣伝も必ずしてくれました。誰よりも忙しく、時間の欲しい議員さんが、手も切れるような寒さの中、ビラを配ってくれる姿を見て頭の下がる思いでした。上諏訪で降りた人から「茅野で、下諏訪で、岡谷で貰ったよ」と声をかけられました。」と綴っています。(石川 博)

随想

沖縄に理解と支援の輪を(1)

美原 矢沢真民(77)

「70の島々連なるその中に、鋭く天を差す立峰、おお伊江島よ」「ここでは沢山の人が死んだ、娘も息子も海も岩もすべて砲弾で焼き尽くされ、3500の、ああ何と多くの兄弟が、この島で倒れていったことか」「この島は飛行場になり、キビは石の下に埋められた」「苦しかったあの時、それでも生き抜いてきた、わしら。」

沖縄全面返還運動の重要な役割を担った「歌劇沖縄」の一曲です。

1坪当たり数発の銃弾が撃ち込まれ、畑の土は飛散、岩盤むき出しの瓦礫と化したのです。砂糖きびを生活の糧にしてきた島民にとって生きていく手段を奪われたのです。

占領下、島の三分の二は飛行場・演習場、今はオスプレイの補修基地にもなっています。返還前はアメリカの占領下でしたので、本土との往来は「ビザ」がなければ不可能でした。

返還後も時の「為政者」は口々に「沖縄軍事基地軽減策」を唱えますが、その時過ぎの詭弁であり、70年経っても一向に進んでいません。

「辺野古」反基地の闘いは、沖縄県のみの問題だけではなく、日本の安全保障の命運を決める重要な闘いであり、全国的運動が必要とされています。

9月10日、「沖縄に連帯する緊急上伊那集会」が開催され、我々が支援した玉城デニー新知事が誕生しました。上伊那集会呼びかけ人の方々、賛同団体のみなさん、一日も早く「沖縄反基地支援組織」を立ち上げ、運動を展開されますよう切望します。

催し案内

- ☆ 「上伊那市民連合再結成」と懇親会
11月4日(日) 午後2時～
(株)まつり工房 西春近4105-407
懇親会費 2000円 (お風呂・宿泊無料)
連絡先: 78-6662 (まつり工房北原)
- ☆ 1日2本立て 映画鑑賞会 (於:まつり工房)
11月11日(日) 午前11時～午後4時頃
午前11時 「コスタリカの奇跡」
12:00～1:00 昼食 (特製カレー)
午後1時 「武器なき闘い」
15:20～16:00 感想・談笑会
主催: 西春近9条の会
連絡先: 080-5145-4547 (酒井)
78-6662 (まつり工房北原)
- ☆ ドキュメンタリー映画
「種まきうさぎーフクシマに向き合う青春」
上映会
11月11日(日) 午前の部 10時～11時半
午後の部 1時半～3時
お話し会 3時～4時
伊那市防災コミュニティセンター・多目的ホール
協力金: 1000円 (高校生以下無料)
連絡先: 上伊那医療生協組合員センター (79-8702)

風物詩

南アルプスふるさと祭り



今年は第35回。美和湖公園でのお祭り、地域芸能の披露、ジビエなど郷土料理がふるまわれます。写真は長谷中学校コーラス部の発表。

(写真 横山良一)

☆ 「脱原発」いな金行動

毎週金曜日午後6時～6時半

いなっせ北側広場 (さよなら原発上伊那の会)

☆ アベ政治を許さない行動

11月3日(土) 午後1時～

ベルシャイン・手良坂信号機付近

☆ 戦争法廃止平和行動

11月19日(月) 午前7時半～

西箕輪大萱交差点では毎週水曜日、午前7時半～青年を中心に。竜東橋北交差点など